金融と日本銀行

名前

問1　日本の中央銀行である日本銀行は、私たちの生活に関わる重要な役割を担っています。日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し出したり、銀行から預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものはどれか。（2019年 高知県公立入試 類似）

1. 政府の銀行
2. 国民の銀行
3. 発券銀行
4. 銀行の銀行

問2　日本銀行が景気回復を目指して実施する「買いオペレーション」において、国債の売買が市場の金利や企業の活動に与える影響として正しいものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場の通貨量が減り、物価の上昇を抑える効果がある。
2. 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の貸し出し資金に余裕ができ、金利が下がって企業の設備投資が促される。
3. 日本銀行が国債を売り出すことで、市場の通貨量が不足し、金利が上がって景気の過熱が抑制される。
4. 日本銀行が国債を売り出すことで、銀行の持つ資金が増え、企業の倒産を防ぐ効果がある。

問3　企業が株式や社債を発行して、家計などの投資家から資金を調達する「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。
2. 日本銀行が民間金融機関に資金を貸し出し、市場に流通する通貨の量を調整することで景気を安定させる。
3. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行自身の責任で企業に貸し付けるため、預金者は貸付先の経営リスクを負わない。
4. 企業が過去の営業活動で得た利益を社内に蓄積し、そこから必要な設備投資の費用をまかなう。

問4　銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。
2. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。
3. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。
4. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。

問5　日本において広く行われている、銀行などの金融機関が家計から預金として集めた資金を、家計に代わって企業などの資金を必要とする組織に貸し出す仕組みを何といいますか。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 間接金融
2. 消費者金融
3. 直接金融
4. 公共金融

問6　日本銀行は「中央銀行」として、一般の銀行とは異なる特別な役割を担っています。このうち、民間の金融機関との間でのみ資金の貸し出しや預金の受け入れを行う役割を何と呼びますか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 発券銀行
2. 政府の銀行
3. 企業の銀行
4. 銀行の銀行

問7　家計から預かった預金を、銀行などの金融機関が仲介役となって企業に貸し出すことで、企業が事業活動に必要な資金を調達する仕組みを何といいますか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 間接金融
2. 公開市場操作
3. 直接金融
4. 信用創造

問8　家計などの余剰資金を銀行が預かり、それを企業などの資金不足の主体に貸し出す「間接金融」の仕組みにおいて、銀行が預金利子率を貸し出し利子率よりも低く設定している理由として、最もふさわしい背景はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。
2. 日本銀行による金融政策により、すべての銀行の預金利子率を貸し出し利子率より下げることが法律で強制されているため。
3. 不景気の際に、企業が資金を借りやすくするために、預金者から徴収した手数料を利子補填に回しているため。
4. 預金者が銀行に資金を預けること自体が投資であり、元本保証の対価として利子を低く抑える契約が一般的だから。

問9　クレジットカードを用いた取引では、消費者が店で商品を受け取った際、代金をカード会社が一時的に立て替え、後日消費者がカード会社に代金を支払う仕組みになっています。このような仕組みにおいて、将来の支払いに困らないよう「計画的な支出管理」が求められる理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから
2. クレジットカードは自身の収入に関わらず、利用限度額の設定なしに無制限に利用することが一般的であるから
3. 商品の購入と同時に銀行口座から即座に代金が引き落とされるため、残高不足による決済不能を防ぐ必要があるから
4. カード会社が代金を立て替えることで、消費者は将来の支払い義務を負わずに商品を受け取ることができるから

問10　日本銀行が「買いオペレーション」を実施し、金融機関が保有する通貨量を増やした際、その後に期待される経済の仕組みと効果について述べたものとして正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 金利が上がり、人々の預金意欲が高まることで、物価の上昇が抑えられる
2. 通貨の価値が上がることで、輸入品の価格が安くなり、国民の消費が抑制される
3. 銀行の貸し出しが制限されることで、企業の倒産を防ぎ、通貨の安定が図られる
4. 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる

問11　日本銀行が「発券銀行」として紙幣を発行し、その流通量を調整している最も主要な目的は何ですか。その背景を含めた説明として適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため
2. 外国との貿易を円滑に進めるため、すべての国の通貨を日本銀行券に統一するため
3. 国全体の予算を編成し、公共事業や社会保障に必要な資金を分配するため
4. 一般の個人や企業に対して直接的な融資を行い、利息による利益を得るため

問12　日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすとき、具体的にどのような業務を行っていますか。資金の流れや取り扱う対象に注目して、適切なものを選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 家計から預金を集め、それを原資として政府の公共事業に投資する業務
2. 一般の企業から直接税金を徴収し、政府の予算として配分する業務
3. 政府が発行する紙幣の枚数を決定し、閣僚に直接手渡しで資金を供給する業務
4. 税金などの国庫金の管理を行い、政府の支払事務などを代行する業務

答え合わせ・解説

問1	答え 4 銀行の銀行	日本銀行は一般の個人や企業と直接取引をするのではなく、民間銀行を相手に預金や貸し出しの業務を行います。この機能は、一般の銀行にとっての銀行であるという意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。その他の役割として、紙幣を発行する「発券銀行」や、国の税金を管理する「政府の銀行」としての側面も持っています。
問2	答え 2 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の貸し出し資金に余裕ができ、金利が下がって企業の設備投資が促される。	日本銀行が国債を買うことで市場の通貨量が増加すると、お金の供給が需要を上回る形となり、一般的に金利は低下します。金利が下がると、企業は事業を拡大するための資金を借りやすくなり、設備投資や雇用が生まれます。このように、通貨量の調整を通じて民間経済の意思決定に働きかけるのが公開市場操作の狙いです。
問3	答え 1 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。	直接金融では、資金の出し手（投資家）と借り手（企業）が直接結びつきます。そのため、投資した企業が倒産した場合には投資額を失うリスクがありますが、業績が良ければ高い配当などの収益を得る可能性もあります。一方、銀行が間に入る間接金融では、銀行がリスクを負い、預金者には一定の利息が支払われる仕組みになっています。
問4	答え 2 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることになります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問5	答え 1 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形で資金を集めて仲介を行う仕組みです。資金の出し手が直接、どの企業に資金を供給するかを選択しないため、このように呼ばれます。
問6	答え 4 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の会社と直接取引を行うことはありません。取引の相手を民間の銀行などの金融機関に限定し、銀行が資金不足に陥った際に融資を行ったり、銀行が保有する当座預金を預かったりすることから、銀行のための銀行という意味でこのように呼ばれます。なお、国の税金や予算を管理する役割は「政府の銀行」、紙幣を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらは日本銀行の三大機能とされています。
問7	答え 1 間接金融	家計（貸し手）と企業（借り手）の間に銀行などの金融機関が介在し、預金という形をとって間接的に資金が流れるため、このように呼ばれます。貸し手である家計は、資金がどの企業に貸し出されるかを直接決定しない点が特徴です。
問8	答え 1 預金者への利子支払いを抑え、貸し出しによる利息収入との差額を銀行の運営費用や利益に充てるため。	銀行は金融仲介機関として、多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業などに大口で貸し出します。銀行が健全に経営を続け、店舗の維持や従業員の給与、システムの管理を行うためには、収益を上げる必要があります。貸し出した際の利息収入が、預金者に支払う利息を上回るように設定することで、その差額が銀行の経費や利益を支える原資となります。
問9	答え 1 現金を使わないためにお金を使った実感を持ちにくく、自身の収入を考えずに使いすぎてしまう恐れがあるから	クレジットカードは、購入時点では現金の支出を伴わないため、心理的に「お金を使った」という感覚が薄れやすい傾向にあります。そのため、自分の将来の収入や他の支出予定を十分に考慮せずに利用を重ねてしまうと、後日の支払い期日に資金が不足し、返済が困難になるリスクがあります。このような事態を避けるために、自身の経済状況を把握した計画的な利用が不可欠です。
問10	答え 4 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	買いオペレーションによって金融機関に資金が供給されると、市場での資金供給が過剰になり、お金を借りる際の利息（金利）が低下します。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、停滞していた景気を回復させる効果が期待されます。
問11	答え 1 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため	日本銀行は、市場に流通する通貨の量を調整することで、物価が急激に上がったり下がったりすることを防いでいます。この機能は景気の波を穏やかにするために不可欠です。国の予算編成は政府の役割であり、個人や企業への直接融資は一般の普通銀行が行う業務です。また、他国の通貨を統合する役割も持っていません。
問12	答え 4 税金などの国庫金の管理を行い、政府の支払事務などを代行する業務	日本銀行は、国が徴収した税金などの公金（国庫金）を預金として管理しています。また、政府が年金や公共事業の代金を支払う際の事務を代行するなど、国の会計に関わる実務を担っています。このように、政府の口座を管理する窓口となっているため「政府の銀行」と呼ばれます。